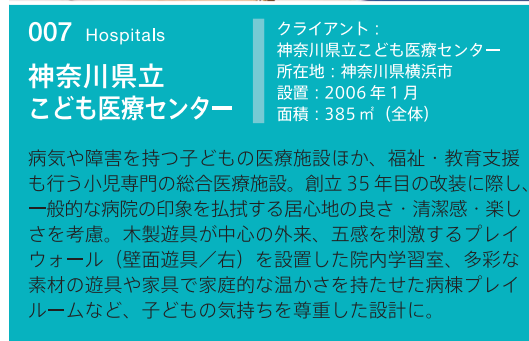


新時代のあそび場

あそび場の役割や込められる想いは、設置される場所や施設の種類のによって少しずつ違います。例えば、病院などでは子どもの精神的負担を和らげる効果が期待されています。「神奈川県立こども医療センター」は、病院の印象を「怖い場所から子どもが子どもらしくいられる場所に変えたい」という依頼で始まったプロジェクト。家を離れて過ごす長期療養児童の気持ちに留意し、五感を刺激する素材を使い、社会性が自然に身につけられ、かつ安心感に満ちた空間が完成しました。また、「やまき歯科クリニック」は、子どもの治療に対する恐怖心を軽減させることができた好例。あるいは「法性寺」や「札幌ドーム」のように、それまでおざなりにされてきた子どもの居場所を見直すことで親の負担まで軽減させた例もあります。これは、あそび場を作ることで場に集う人々全員が楽しめる空間づくりをしていこうとする動きが出てきた証。一口にあそび場と言っても、施設の目的やコンセプトをきちんととらえ、利用する親や子どもに対してどんな役割を持たせるのか。私たちは常にその点を意識し、あそび環境の創造に取り組んでいます。



007 Hospitals

神奈川県立
こども医療センター

クライアント：神奈川県立こども医療センター
所在地：神奈川県横浜市
設置：2006年1月
面積：385㎡（全体）

病気や障害を持つ子どもの医療施設ほか、福祉・教育支援も行う小児専門の総合医療施設。創立35年目の改装に際し、一般的な病院の印象を払拭する居心地の良さ・清潔感・楽しさを考慮。木製遊具が中心の外来、五感を刺激するプレイウォール（壁面遊具/右）を設置した院内学習室、多彩な素材の遊具や家具で家庭的な温かさを持たせた病棟プレイルームなど、子どもの気持ちを尊重した設計に。



009 Baseball Fields

札幌ドーム

クライアント：株式会社札幌ドーム
所在地：北海道札幌市
設置：2006年5月
面積：50㎡

プロ野球観戦が中心の多目的全天候型施設内に3歳以下の子ども対象の「ベビーコーナー」を設置。観戦に飽きがちな子どもが楽しめる居場所をつくり、観戦を楽しみたい親と双方の気持ちを満たす空間となるように考慮した。このように、観戦しながら親と子どもが遊ぶことのできる空間をつくりあげたのは全国初の画期的な試み。子どもが集中して遊ぶため、長時間の試合でも気兼ねなく楽しめる親世代にも好評だ。



010 Temples

日蓮宗法性寺

クライアント：牧野博悠（法性寺住職）
所在地：神奈川県横浜市
設置：2006年1月
面積：58.4㎡

390年の歴史を持つ日蓮宗寺院。「檀家さんが使いやすい場」に」駐車場の拡大や本堂のバリアフリー化など施設整備を行う住職の方針を反映。子どもの泣き声に困りがちな母親も気軽に法事などに参加できるよう、また子ども連れでも肩身が狭くならないような場を提案した。開放的な空間設計により、子どもの様子と儀式の進行双方に目を配ることができ、親の精神的負担も減少したという。



誕生レポート 神奈川県立こども医療センター

当センターは、年間約14万人の患者が訪れる小児専門の総合医療施設です。外来では、待ち時間が長く、その時間の子ども負担軽減が課題でした。また、病棟では1日入院から年単位の長期入院患者まで入院期間が異なっており、病院で過ごす時間は様々です。利用する子どもたちの精神的な苦痛を少しでも和らげてもらおうと、昔から待合室などに遊具は取り入れていたそうです。この遊具を購入しに出かけた看護師がポーネルドに出会ったのが6年ほど前。これがすべての始まりでした。その後も予算の中でボランティアの方々と協力して少しずつ遊具を購入したところ、患者さんたちに大評判。そこで今回の施設改装の際、ポーネルドがあそび場のコーディネイトを担当設計、デザインから施行まで全面的に行うことになりました。

施設整備の上で最も意識したのが、「病院という特殊な環境を、子どもに少しでも心地よく暖かなものにする」こと。そこで提案されたプランは、小児医療の充実

つながるセンターの基本理念や方針にぴったりのものでした。外来の方は病院と日常生活の差を埋める家庭的で温かみある空間、病棟プレイルームには、直線の多い病棟に曲線を作り自然を感じさせる木やコルクのプレイウォール（壁面遊具）など、生活空間に溶け込む多彩な素材の遊具が揃えられています。子どもの生活はあそびや学習が中心。あそび場があれば病院も非日常の場所ではなく、彼らのやる気や発育の権利を満たす役割も果たしてくれます。また、治療や検査を受けた恐怖感やストレスを分散させる力も持っています。発達段階に合わせたあそび場の完成により、子どもの筋肉や神経など心身の発達だけでなく、対話力や表現力など精神面の充実も促せる空間が生まれました。患者さんご家族にも、より過ごしやすい環境ができました。



007-010

008 Hospitals

やまき歯科
クリニック

クライアント：やまき歯科クリニック
所在地：千葉県市原市
設置：2003年10月
面積：45㎡

治療室と待合室がワンルームになった歯科クリニック。「子どもが自分の意志で治療に向かうような空間作り」という依頼を元に、開放的な空間ならではの、消防車の形をしたコンパニのトラック型大型遊具（左）やミニハウス、キッチンセットなどを設置。治療をあそびの延長とすることで歯科クリニック特有の音や臭いに慣れさせ、子どもの精神的な負担を軽減することに成功した。

